



七尾中学校 学校だより
七尾の丘

Seven tails Story 七つの尾の物語を創り上げよう！



マスコット“七王”(ななおう)

第2号

令和5年4月21日

廿日市市平良二丁目2-34

TEL:0829-32-8200

ありがとう1年生 こんな入学式は初めてです



4月11日(火)、第74回入学式を行い、122名の新入生を迎えました。その入学式の中で、こんなことがありました。私(校長)が式辞のなかで「『轍』という字を読めますか?」と呼びかけたところ、1年1組NS君、1年2組KHさん、1年2組MM君が挙手をして答えてくれました。今までも入学式の時にクイズや問題を出して挙手を呼びかけたことがありましたが、実際に挙手をして答えてくれたのは初めてです。発言の中には間違いもありました。しかし、間違いを恐れずチャレンジ

してくれる姿勢は、正誤よりも価値の高いことです。そして、3人の仲間が答えてくれたことにより、学びが広がりました。このように、課題と向き合う姿勢をずっと大切にしてほしいと思います。あまりに嬉しくて、3人の仲間にステージの前まで来てもらい握手をさせてもらいました。こんな入学式は初めてです。課題に答えてくれた仲間、その仲間に拍手できる新入生と保護者の皆様、本当にありがとうございました。

入学式式辞(抜粋)



1-1 学級開き

(前略)突然ですが、新入生の皆さんこの漢字を読めますか? 「轍」読める人は、手を挙げてみてください。「てつ」あるいは「わだち」ですね。今日は、「わだち」と読みます。この漢字には「車輪が通った跡」という意味があります。この轍を、昔のヨーロッパにラテン語という言葉があったのですが、ラテン語でカノンといいます。現在では、カノンが英語になって「キャリア」という言葉になりました。



1-2 学級開き

ところで、皆さんは、なんでこんなことを校長先生がいうのか不思議ではないでしょうか。実を言うと、先生達の業界用語に「キャリア教育」という言葉があるのです。キャリア教育とは、皆さんが学びの轍をつくり、自らの進路を切り拓く力を育てるという意味があります。七尾中学校で行われている教育活動は、全てキャリア教育です。皆さんは、これから進路実現に向けて学びの轍をつくっていくのです。



1-3 学級開き

その中で、特に大切にしてほしいことが3つあります。一つ目が「あいさつ」です。七尾中学校には、爽やかなあいさつをしてくれる先輩がたくさんいます。そして、あいさつはコミュニケーションの第一歩です。コミュニケーション力は、大切な学びのエネルギーです。「あいさつ」を大切にしてほしいと思います。

二つ目は「掃除」です。皆さんが校舎に一步入ったら、ピカピカに磨かれた廊下と清潔なトイレを目にすることになるでしょう。七尾中学校では、掃除を学年の枠を超えた縦割りで行います。七尾中学校には仲間と共に働き、学校を支えてくれる先輩がたくさんいます。掃除を通して、仲間と協力して、役割を果たすことを学んでください。その学びは皆さんの主体性や積極性を磨く原動力になります。

最後に大切にほしいこと、学校で最も大切にすべきことは「授業」です。中学校の学習内容は、小学校に比べるとずっと難しくなります。難しい課題だからこそ、クラス全体で協働して取り組まなくてはなりません。皆さんが授業で力を発揮するための手助けを、先生達は惜しみません。課題を見だし、その課題を解決する喜びを共に味わおうではありませんか。「あいさつ」「掃除」「授業」この3つの中で、お互いの頑張りを勇気づけ、成長し、キャリアの轍をつくる、その3年間で今日から始まるのです。

奇しくも、皆さんは日本全国でこう呼ばれることでしょうか。コロナ禍における最後の中学生だと。もう、学校内でマスク着用を推奨することはありません。学校行事も、コロナ禍を理由に縮小されることはありません。これまで我慢してきた、いや蓄えてきたエネルギーを、「あいさつ」「掃除」「授業」の中で発揮しながら、キャリアの轍を刻もうではありませんか。その姿こそ、七尾中学校の校訓、「感 考 行」であり、皆さんの未来を切り開く轍となります。共に学び、共に活動し、共に悩み、キャリアを刻みましょう。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学、心よりお喜び申し上げます。変化の激しい時代だと言われます。時代はICTだとも言われます。しかし、時代の変化が激しいからこそ、子どもたちに求められるのは「知 徳 体」のバランスの取れた「生きる力」であると私は考えます。そのために構築しなくてはならないのが、先生と生徒、生徒同士、そして学校と保護者の良好な人間関係であると考えます。

そのことに、ご理解とご協力をいただきますようお願いし、式辞といたします。

中学校生活がスタートしました



新入生歓迎会のレク

4月14日(金)、新入生歓迎会と部活動紹介が行われました。この2つの行事は生徒会執行部が企画し、在校生と新入生の親睦を深めると同時に、中学校生活のあらましについて新入生に理解してもらうための取組です。執行部の仲間や各部のアイディアで、2つとも楽しい会になりました。では、新入生に、中学校に入学して感じたことをインタビューしましたのでお読みください。

1-1 NR

え〜と、校舎が3階建てでした。あとは、平良小学校と違って教室にドアがありました。自分たちは、「何かをどこかに取りに行くのかなあ」と思いました。「グラウンドが狭い」とも感じました。部活動は、野球部に入りたいと思っています。

1-2 TY

え〜と、1クラスの数が多いので、廊下に出ると、めっちゃにぎやかで、とても楽しいです。他の小学校の人たちも仲良くしてくれます。

部活動は、男子バスケットボール部に入りたいと思っています。

1-3 MH

なんか、勉強が難しく感じます。でも、新しい友達ができただけで、めっちゃうれしいです。部活動は、ソフトテニス部に入りたいと思っています。

新入生は、順調に轍を刻み始めたようです。これから、どんなドラマができるのか、楽しみです。

全国学力・学習状況調査について

4月18日(火)に、全国学力・学習状況調査が行われました。今年度の実施教科は、「国・数・英」です。この調査は、調査の結果を通して授業改善に役立てるためのものです。私見ですが、ここ数年、調査問題の内容と、広島県公立高校の入試問題が同一の傾向にあるように思います。新聞報道等で公表された調査問題をそのような視点でご覧いただき、お子様と話題にさせていただけると幸いです。